

福島県のこどもの数(15歳未満人口)～「こどもの日」にちなんで～ 《福島県現住人口調査(「福島県の推計人口」(令和2年4月1日現在))より》

令和2年5月4日
福島県企画調整部統計課
TEL 024-521-7145

- ※1 本推計人口における転入、転出等については、住民基本台帳法に基づき各市町村に届出等があった情報を集計している。したがって、東日本大震災や原子力災害の影響を受けて被災地等から避難した方に係る移動については、各市町村に届出があった方のみ、転入、転出等として集計している。
- ※2 この資料に掲載した割合は、総人口から年齢不明を除いて算出している。

福島県のこどもの数は207,712人、県人口の11.5%

令和2年4月1日現在における本県のこどもの数(15歳未満人口)は207,712人で、前年(平成31年4月1日時点)より4,861人減少し、減少率は2.3%となった。

男女別では、男子が106,317人、女子が101,395人で、男子が女子より4,922人多く、女子100人に対する男子の数(性比)は104.8となっている。

県人口に占めるこどもの割合は11.5%で、前年より0.1ポイント低下した。

年齢階級別にみると、5歳以下(未就学の乳幼児)は77,411人、6～11歳(小学生の年代)は84,020人、12～14歳(中学生の年代)は46,281人となっている。

表1 男女別、年齢階級別こどもの数

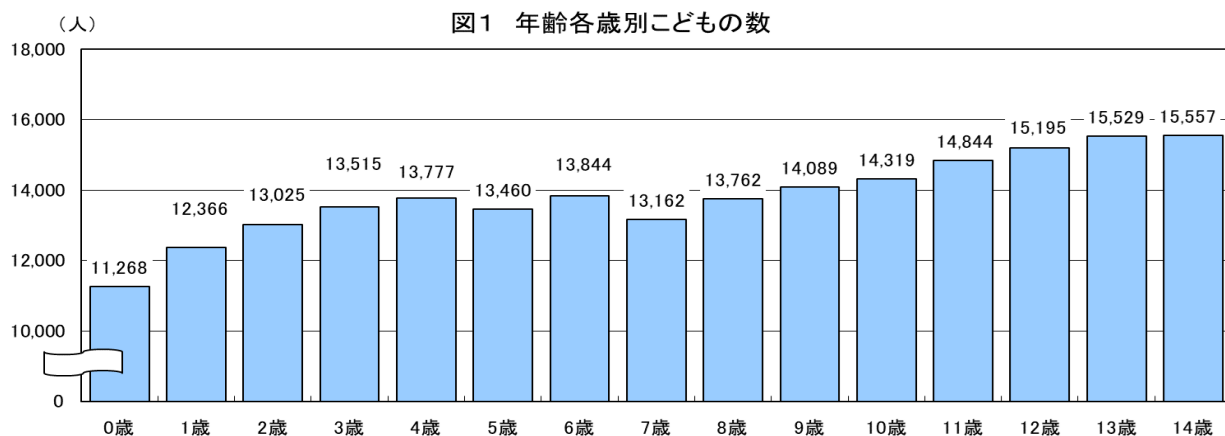
(単位:人、%)

	令和2年4月1日現在					平成31年4月1日現在	
	総人口	こどもの数 (0～14歳)	0～5歳	6～11歳	12～14歳	総人口	こどもの数 (0～14歳)
男女計	1,830,006	207,712	77,411	84,020	46,281	1,848,516	212,573
男	906,649	106,317	39,256	43,346	23,715	914,946	108,858
女	923,357	101,395	38,155	40,674	22,566	933,570	103,715
こどもの割合	—	11.5	4.3	4.6	2.6	—	11.6

(注) 割合は、総人口から年齢不明(22,579人)を除いて算出している。

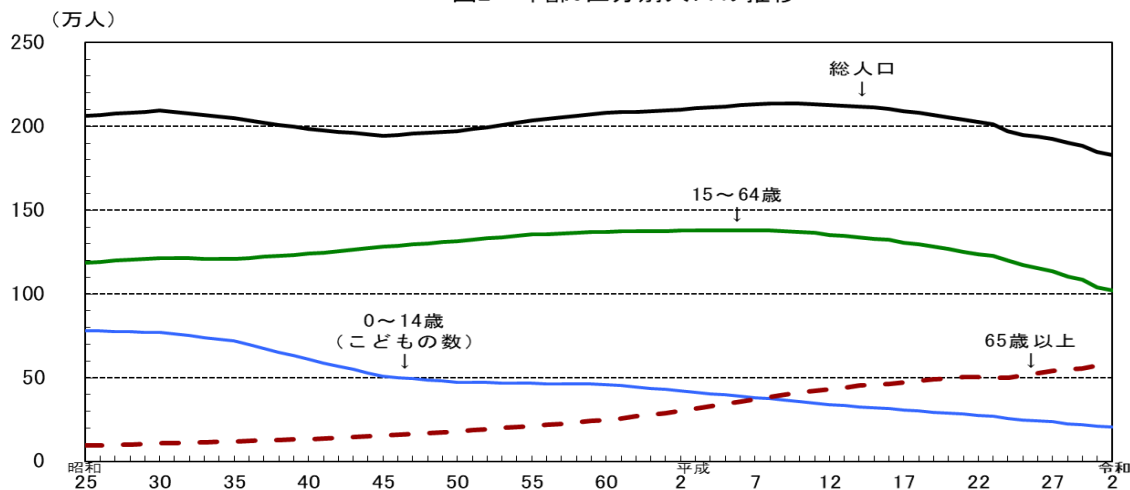
年齢が下がるほど少ないこどもの数

こどもの数を年齢各歳別にみると、14歳が15,557人で最も多くなっている。最も少ないのは0歳の11,268人で、年齢が下がるほど少なくなる傾向がある。



本県のこどもの数は、昭和25年以降、減少傾向が続いている。平成8年にはこどもの数が65歳以上の高齢者の数を下回った。

図2 年齢3区分別人口の推移



(注) 国勢調査及び福島県の推計人口による。昭和25年～平成22年は10月1日現在、その他は4月1日現在。

表2 年齢3区分別人口及び割合の推移

(単位:人、%)

	総人口	0～14歳 (こどもの数)		15～64歳		65歳以上	
		人口	割合	人口	割合	人口	割合
昭和25年	2,062,394	780,838	37.9	1,187,059	57.6	94,391	4.6
30年	2,095,237	771,329	36.8	1,216,140	58.0	107,749	5.1
35年	2,051,137	720,721	35.1	1,208,990	58.9	121,426	5.9
40年	1,983,754	608,959	30.7	1,239,658	62.5	135,137	6.8
45年	1,946,077	508,172	26.1	1,283,176	65.9	154,729	8.0
50年	1,970,616	473,903	24.1	1,316,161	66.8	180,356	9.2
55年	2,035,272	466,840	22.9	1,355,601	66.6	212,704	10.5
60年	2,080,304	460,767	22.1	1,371,556	65.9	247,947	11.9
平成 2年	2,104,058	422,064	20.1	1,377,857	65.6	301,552	14.3
7年	2,133,592	381,511	17.9	1,380,208	64.7	371,572	17.4
12年	2,126,935	341,038	16.0	1,353,500	63.7	431,797	20.3
17年	2,091,319	307,294	14.7	1,307,734	62.6	474,860	22.7
22年	2,029,064	276,069	13.7	1,236,458	61.3	504,451	25.0
23年	2,014,603	272,402	13.6	1,229,638	61.4	500,477	25.0
24年	1,969,852	256,908	13.1	1,199,436	61.3	501,422	25.6
25年	1,949,595	249,151	12.9	1,173,107	60.5	515,251	26.6
26年	1,937,530	243,703	12.7	1,154,498	60.0	527,243	27.4
27年	1,926,961	239,128	12.5	1,134,954	59.3	540,793	28.2
28年	1,903,383	226,778	12.1	1,105,252	58.8	548,774	29.2
29年	1,886,317	221,978	11.9	1,084,408	58.2	557,352	29.9
30年	1,867,150	217,331	11.8	1,061,892	57.6	565,348	30.6
31年	1,848,516	212,573	11.6	1,041,722	57.1	571,642	31.3
令和 2年	1,830,006	207,712	11.5	1,022,808	56.6	576,907	31.9

(注1) 昭和25年～平成22年は国勢調査、その他は福島県の推計人口による。

(注2) 昭和25年～平成22年は10月1日現在、その他は4月1日現在。

(注3) 総人口には年齢不明が含まれるため、年齢3区分別人口の合計と総人口は一致しない。

表3 こどもの数及び割合の推移(国勢調査開始後)

こどもの数に係る事象	年月日	こどもの数 (人)	こどもの割合 (%)	県人口 (人)
戦後の最大値	昭和25年10月1日	780,838	37.9	2,062,394
戦後50万人を割り込んだ	昭和50年10月1日	473,903	24.1	1,970,616
戦後30万人を割り込んだ	平成19年2月1日	299,683	14.4	2,078,064

(注1) 昭和25年10月1日及び昭和50年10月1日は国勢調査、平成19年2月1日は福島県現住人口調査による。

(注2) 割合は、総人口から年齢不明を除いて算出している。

こどもの割合の市町村別状況

こどもの割合を市町村別にみると、最も高いのは大玉村で14.7%、以下、鏡石町(13.9%)、湯川村(13.9%)と続いている。

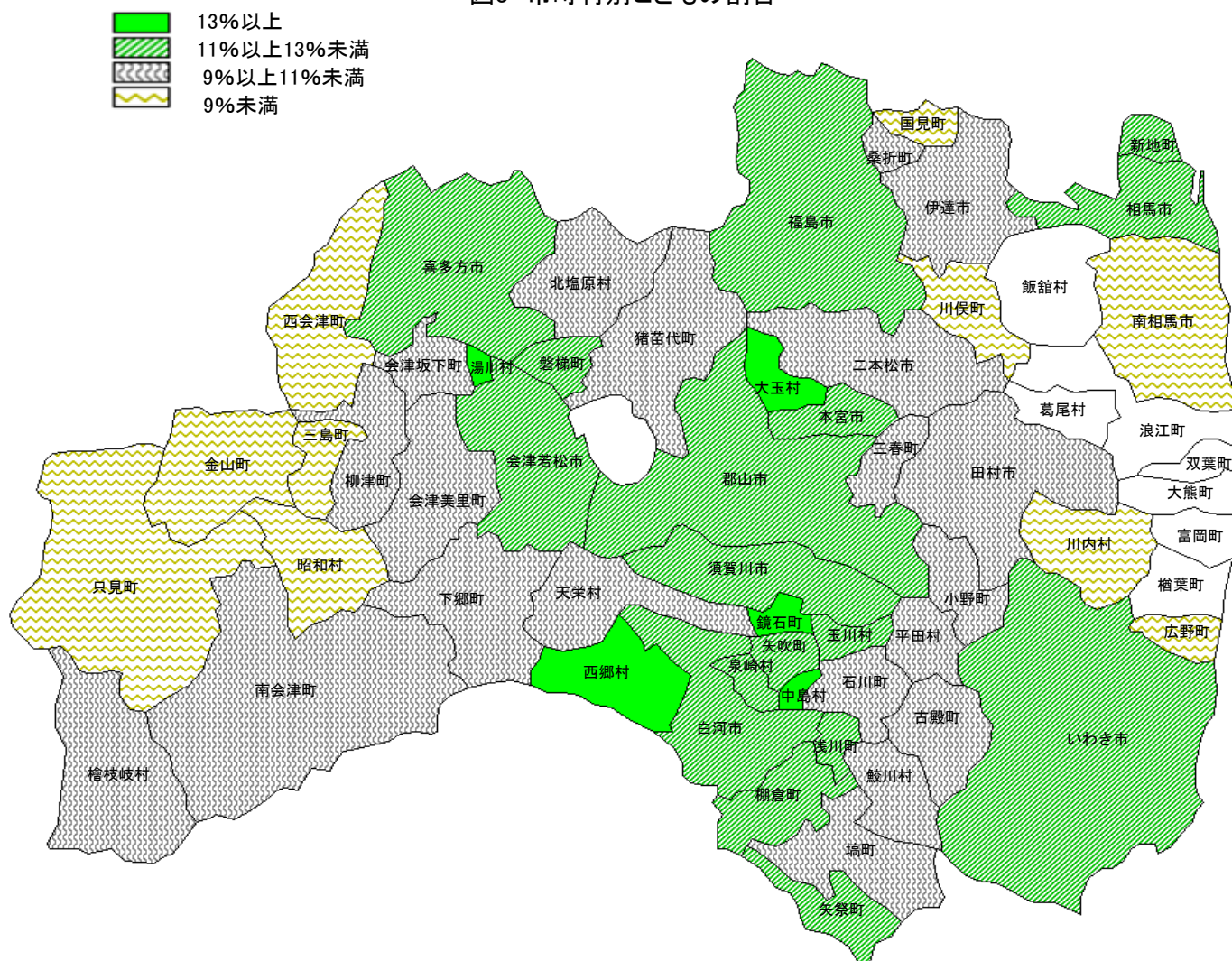
一方、こどもの割合が最も低いのは金山町で4.7%、以下、川内村(5.2%)、昭和村(5.9%)と続いている。

表4 こどもの割合が高い市町村及び低い市町村

(単位:人、%)

割合の高い市町村					割合の低い市町村				
順位	市町村名	こどもの割合	こどもの数	人口	順位	市町村名	こどもの割合	こどもの数	人口
1	大玉村	14.7	1,305	8,932	1	金山町	4.7	91	1,923
2	鏡石町	13.9	1,711	12,286	2	川内村	5.2	97	1,856
3	湯川村	13.9	420	3,030	3	昭和村	5.9	71	1,198
4	西郷村	13.7	2,750	20,457	4	三島町	6.7	99	1,468
5	中島村	13.2	637	4,816	5	広野町	7.5	293	3,934

図3 市町村別こどもの割合



※ 富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村及び飯館村については、平成27年10月1日現在全域が原子力災害による避難指示区域のため、また檜葉町については、平成27年9月4日まで全域が避難指示区域だったため、市町村別状況から除いている。